



市議会議員
山脇 紀子
フェイスブックで発信中

水はけが悪い道路の改修を要望

山脇 南町の三和公園周辺の道路では、雨水枡の老朽化や段差が見受けられ、近隣住民からバス停が水たまりになるなど、水はけが悪いとの声がある。道路補修事業を待たずに、雨水枡等の改修を行ってほしいがどうか。

健康福祉部長 11月28日から3日間、一次受付を行い、前年度と比較して5名増の404名の申し込みがあった。

山脇 保育園入園申し込みの受け付け状況はどうか。3歳児の定員拡大の状況は。

認可保育園2園で3名の拡大、来年度はさらに1園で2名の拡大をはかっている。
山脇 保育無償化については、消費税増税を財源にするなど課題があると考える。自治体への影響と、待機児童解消にむけた市長の見解はどうか。
市長 自治体の財政的負担や事務量が膨大になるなど課題は大きい。当然、国が実施する保育料無償化分は国が負担すべきである。また、認可保育園の増設を含めて保育の充実に、引き続き取り組む。
◆児童虐待防止の対策を
山脇 17年度の相談件数と増加している相談を受けつける体制は大丈夫か。
部長 相談件数は157件(身体的虐待38件、心理的虐待101件、ネグレクト18件)。相談室は正規職員1名(元保育園長)、非常勤1名(元保育園長)にも担当の体制。児童福祉課にも担当ケースワーカー2名を配置し、随時情報交換や家庭訪問にも同行するなど調査に関する業務もしている。
山脇 最近多くなっている警察からの通報(夫婦間のDVは子どもにとって心理的虐待に該当)の場合、児童との面談は迅速に行われているか。
部長 市では当日面談するよう初期対応を図っている。全ルールは48時間以内に面談するとなっている。



市議会議員
鈴木 智
フェイスブック
ツイッターでも発信中

多文化共生のまち市民参加でプラン検討を

鈴木 改定出入国管理法の影響をどのように考えるか。

市民生活部長 労働目的の外国人が日本で暮らすことになれば本市でも外国人住民が増加するものと認識している。

鈴木 外国人住民に、本市の行政やコミュニティについてよく知ってもらうことが必要であり、そのための協力を得ることも必要と考える。指摘

されるごみ出しトラブルの解消へ、日本語学校などに出向き協力を得る考えはないか。

市民生活部長 (対象となる)施設や会合を把握し、説明に出向くことを検討したい。

鈴木 外国人住民を「まちづくりのパートナー」と位置づけ、多文化共生まちづくりプラン(仮称)を市民参加で策定する考えはないか。
総務部長 他市の事例を踏まえ、調査研究したい。
鈴木 国は外国人労働者の受け入れを増やすが、受け入れの環境整備は地方自治体まかせの歪んだ状況にあるのは確か。しかし、市として現状の課題を把握し対応を検討する必要がある。浜松市では、外国人住民も参加し「ビジョン」として整備された。みんなが住みやすい環境にするために本市での検討を要望する。
◆蕨駅西口再開発
鈴木 まずは、権利者の合意形成は丁寧に行うことを求める。そのうえで、都市計画変更以降も、市民への積極的な情報提供や市民意見を反映させる努力が必要と考えるが市長の見解はどうか。
頼高市長 市民の関心が高く、蕨のまちづくりにとっても大きな事業。多くの人が便利になった、生活が豊かになったと実感できる整備をしたい。大事な時期ごとに事業がどう進んでいるかを市民に伝え意見を聞くことは大切。法律上で定められている機会以外にも、ふさわしい情報発信を行い、意見を伺っていききたい。
鈴木 周辺店舗への人の回遊性や十分な駐輪場の確保など、今後の検討を要望する。
◆他に、リサイクルフラワーセンターの花苗の活用などを 質問しました。

12月定例市議会報告

新庁舎の建設へむけ準備進む

消費税10%増税中止を願う陳情が焦点

蕨市議会定例会(昨年11月28日〜12月18日)は市長提出議案8件すべてを可決。陳情は2件で、「蕨市におけるパートナーシップの公的認証への取り組みに関する陳情」は全会一致で採択、「2019年10月の消費税10%増税をやめることを国に求める陳情」は新生会・公明党が反対し不採択とした(裏面で詳報)。

頼高市長の報告

「子育てしやすい」過去最高に

初日に行われた市長報告から主な内容を紹介します。
▼2018年度市民アンケート

ト結果 「子育てしやすいまちだと思う」が52.5%で過去最高に。子育て支援に積極的に取り組んできた成果です。

▼民法改正後も成年式は20歳「発祥の地」蕨の成年式は、成人年齢が18歳となった後も20歳を対象に行うと決定。

▼蕨市民音楽祭、15会場23ステージに2万9千人 クラシック、ジャズ、ポップス、吹奏楽など、様々なコンサートを開催。音楽のまち蕨ならではの音楽祭となりました。

▼定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス運営事業者を選定

▼市制施行60周年 4月より記念行事を実施。



暮らしを守るあったか市政の前進を 予算編成への要望書を手渡す

左から頼高英雄市長と鈴木智、山脇紀子、梶原秀明、宮下奈美の各市議=2018年11月16日

安倍政権と国民生活との矛盾が広がる中、「あったか市政」をいっそう前進させることが大切と強調し、消費税増税に反対し暮らしを守るための施策など290項目にわたる要望書を手渡しました。



戸田市との共同事業、蕨市の分担軽減へ戸田市と協議を

市議会議員
梶原 秀明
中小企業診断士
@Kajiwarahideaki

私は、蕨・戸田両市でごみ処理事業を行う蕨戸田衛生センター組合の、蕨市の分担金の軽減を求めました。蕨市の人口は両市合計の35%に対し、組合経費は43%の負担です。組合規約の調整事項により約6900万円、蕨市の負担が多くなっているため、見直しのため戸田市と協議してほしいと求めました。

私は、蕨・戸田両市でごみ処理事業を行う蕨戸田衛生センター組合の、蕨市の分担金の軽減を求めました。蕨市の人口は両市合計の35%に対し、組合経費は43%の負担です。組合規約の調整事項により約6900万円、蕨市の負担が多くなっているため、見直しのため戸田市と協議してほしいと求めました。



パートナーシップ制度実現に向けて

市議会議員
宮下 奈美

パートナーシップ制度とは、夫婦に準じる共同生活を送りながらもそのことを対外的に証明する手段が乏しく、生きづらさを抱えている2者の困難を軽減・解消することが目的の制度です。

しかし、性的マイノリティーをはじめ、さまざまな人が、入院中のパートナーにもしもの時があった場合、一緒に暮らしているだけの事実婚だと家族として会わせてもらえないこと等の困難に直面している。そのため「結婚できない」「また、「結婚したくない」人の数が増えてきている。今議会では「蕨市におけるパートナー

※他に、あすなる学園の運営と、救急医療対策事業も、蕨市の負担を人口割で算出するよう改善を求めました。

◆正規職員の増員を

住民福祉の向上のため、市職員の役割は重要です。私は、過去数年間の市の正規職員数の推移を質問し、保育士など福祉分野での増員を求めました。総務部長は、2010年以降13人の職員が減り、内12人が単純労働職の不補充方針によるものと答弁。また、3年で正規保育士は5人増えている、10年現在の定員を維持するのが定員管理方針だとの答弁でした。私は、行政需要が増えた場合の正規職員増員

はできるとの感想をえきました。

◆北町の交通安全対策

市民体育館横の信号機がない交差点への信号機設置を警察がしないので、再度の設置要請をおこない、さらに、横断歩道での一時停止の指導や、自動車の速度抑制を警察に要請すべきと求めました。自動車が一時停止しない交通違反を、動画撮影してSNSにアップしたことも紹介しながら対策を求めました。部長は、警察に取り締まりの強化を働きかけたといえました。

今議会でも審議された一般会計補正予算の内容と、消費税10%増税中止を求める陳情への討論を紹介いたします。

一般会計補正予算

新庁舎建設に向け市役所敷地を拡張

新庁舎建設中に使用する仮設庁舎建設にむけ、用地(現・市役所第2駐車場)の地下埋設物撤去の予算が計上されま

10%増税中止求める陳情に新生会・公明党が反対

「2019年10月の消費税10%増税をやめることを国に求める陳情」は、新生会と公明党が反対して不採択。総務常任委員会では「社会保障の財源として妥当」とのべ、公明党は軽減税率などの安倍政権の増税対策を持ち上げるなど、増税を正当化しました。

日本共産党 市議団の討論

日本共産党市議団は、最終日の討論で新生会と公明党の討論に反論。大企業と富裕層



消費税増税ストップを訴える市民団体=2018年12月22日、蕨駅東口

お気軽にお声掛けください
日本共産党市議団の市民相談

1月	23日(水)	
2月	13日(水)	26日(火)
3月	12日(火)	27日(水)

時間：いずれも午後2時から
場所：市役所4階 日本共産党市議団控室
相談無料 当日の電話は ☎432-3590